

2011 年 10 月

**タキサン系抗がん剤 三剤の類似名称等による取り違い防止について
～タキソテール、タキソール、及びワンタキソテールの三剤～**

サノフィ・アベンティス株式会社
ブリストル・マイヤーズ株式会社

謹啓

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、「**タキソテール[®]点滴静注用 20mg、同 80mg**」（サノフィ・アベンティス株式会社）と「**タキソール[®]注射液 30mg、同 100mg**」（ブリストル・マイヤーズ株式会社）との誤用防止に関しましてご配慮いただき、誠に有難うございます。

今般、サノフィ・アベンティス株式会社より、「**ワンタキソテール[®]点滴静注 20mg/1mL**」及び「**ワンタキソテール[®]点滴静注 80mg/4mL**」が発売となりました。

タキソテールとタキソールについては、平成 20 年 12 月 4 日付通知「医薬品の販売名の類似性等による医療事故防止対策の強化・徹底について（注意喚起）」にて、名称の類似性等に注意を要する医薬品として挙げられております。

このように、タキソテールからワンタキソテールへの切り替えが完了するまでの一定期間、取り違いの恐れがある三剤が存在する中、サノフィ・アベンティス株式会社及びブリストル・マイヤーズ株式会社におきましては、三剤の「外観写真」と「一般名、販売名、組成/薬剤濃度、効能・効果、用法・用量」を記載した比較表を作成致しましたので、調製時等にご確認いただけるよう貴施設にて掲示いただく等、ご活用いただければ幸甚に存じます。

更に、オーダーリング時の検索における選択間違い等による取り違い防止のため、以下の例示のようなご配慮も引き続き宜しくお願い申し上げます。

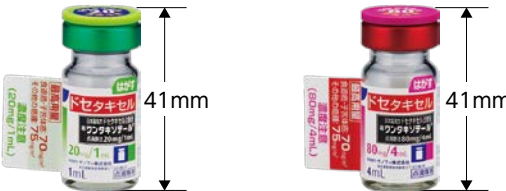
例：「選択時に類似名称及び投与量についての注意喚起を画面に表示する」、
「“一般名／販売名”の入力に変更いただく」、等

両社におきましても、引き続き、取り違い防止のための対策を取って参りますので、今後とも、従来に増しますご愛顧を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹言

取り違えに特にご注意ください タキサン系抗がん剤 三剤 外観比較表

●外観比較

ドセタキセル水和物		一般名	パクリタキセル
日本薬局方 注射用ドセタキセル タキソテール®	日本薬局方 ドセタキセル注射液 ワンタキソテール®	商品名	タキソール®
製造販売：サノフィ株式会社		会社名	製造販売元： Bristol・マイヤーズ株式会社
20mg 製剤 80mg 製剤 	20mg/1mL 製剤 80mg/4mL 製剤 	製剤写真 (バイアル)	30mg 製剤 100mg 製剤 
			
		(外箱)	

ご使用になる製剤の「名称」、「用法及び用量」、「薬剤濃度」等をご確認ください

●組成、効能又は効果、用法及び用量の比較

ドセタキセル水和物 Docetaxel Hydrate		一般名	パクリタキセル Paclitaxel
日本薬局方 注射用ドセタキセル タキソテール [®] 点滴静注用20mg タキソテール [®] 点滴静注用80mg TAXOTERE [®]	日本薬局方 ドセタキセル注射液 ワンタキソテール [®] 点滴静注20mg/1mL ワンタキソテール [®] 点滴静注80mg/4mL ONETAXOTERE [®]	販売名	タキソール [®] 注射液30mg タキソール [®] 注射液100mg TAXOL [®]
1バイアル(0.5mL)中ドセタキセル20mg 1バイアル(2mL)中ドセタキセル80mg ドセタキセル濃度(プレミックス液): 10mg/mL	1バイアル(1mL)中ドセタキセル20mg 1バイアル(4mL)中ドセタキセル80mg ドセタキセル濃度: 20mg/mL	組成／ 薬剤濃度	1バイアル(5mL)中パクリタキセル30mg 1バイアル(16.7mL)中パクリタキセル100mg
乳癌、非小細胞肺癌、胃癌、頭頸部癌、卵巣癌、食道癌、子宮体癌、前立腺癌		効能 又は 効果	卵巣癌、非小細胞肺癌、乳癌、胃癌、子宮体癌、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫、進行又は再発の子宮頸癌、再発又は難治性の胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍)
乳癌、非小細胞肺癌、胃癌、頭頸部癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして60mg/m ² (体表面積)を1時間以上かけて3～4週間間隔で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、1回最高用量は75mg/m ² とする。 卵巣癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして70mg/m ² (体表面積)を1時間以上かけて3～4週間間隔で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、1回最高用量は75mg/m ² とする。 食道癌、子宮体癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして70mg/m ² (体表面積)を1時間以上かけて3～4週間間隔で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜減量すること。 前立腺癌 通常、成人に1日1回、ドセタキセルとして75mg/m ² (体表面積)を1時間以上かけて3週間間隔で点滴静注する。 なお、患者の状態により適宜減量すること。		用法 及び 用量	非小細胞肺癌、胃癌及び子宮体癌にはA法を使用する。 乳癌にはA法又はB法を使用する。 卵巣癌にはA法又はカルボプラチンとの併用でC法を使用する。 再発又は難治性の胚細胞腫瘍には他の抗悪性腫瘍剤との併用でA法を使用する。 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫にはB法を使用する。 進行又は再発の子宮頸癌にはシスプラチンとの併用において、D法を使用する。 A法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回210mg/m ² (体表面積)を3時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 B法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回100mg/m ² (体表面積)を1時間かけて点滴静注し、週1回投与を6週連続し、少なくとも2週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 C法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回80mg/m ² (体表面積)を1時間かけて点滴静注し、週1回投与を3週連続する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 D法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回135mg/m ² (体表面積)を24時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 なお、投与量は、患者の状態により適宜減量する。